

■ 本文

（本文①～⑭は助動詞「けむ」の用法を学ぶためのオリジナル例文です。）

- ① いかなる人か、ここには住みけむ。
- ② いとうれしと思ひけむかし。
- ③ など、つらき目をば見せけむ。
- ④ 昔、男ありけむ、と語り伝へたり。
- ⑤ 月を見ていかばかり恋ひけむ。
- ⑥ いかなる契りにて、かかる人をば見けむ。
- ⑦ さこそはおぼしけむ。
- ⑧ ありし世のことを思ひ出でて、いかに泣きけむ。
- ⑨ 旅の空にて、家をば恋しと思ひけむ人々。
- ⑩ など、かくは仰せられけむ。
- ⑪ 春の野に若菜摘みけむ人もありけむ。
- ⑫ いづくにか宿りはとりけむ。
- ⑬ 都にて聞きしよりも、なほあはれにおぼえけむ。
- ⑭ かばかりの雪は降りけむや。

■ 設問（全22問）

1. 例文①「いかなる人か、ここには住みけむ。」の「住みけむ」の活用形を答えよ。そう判断する理由も、文中の係助詞に触れて述べよ。
2. 例文②「思ひけむ」の「けむ」の意味を、後のア～ウから選べ。
ア 過去推量 イ 過去の原因推量 ウ 過去の伝聞・婉曲
3. 例文③「見せけむ」の「けむ」の意味を、問2のア～ウから選べ。また、そう判断できる手がかりの語を本文から一つ抜き出せ。
4. 例文④「ありけむ」の「けむ」の意味を、問2のア～ウから選べ。また、そう判断できる手がかりの表現を本文から抜き出せ。
5. 例文⑤「いかばかり恋ひけむ」を、助動詞の意味に注意して現代語訳せよ。
6. 例文⑥「いかなる契りにて、かかる人をば見けむ」の「けむ」を、過去推量・過去の原因推量・過去の伝聞婉曲のいずれかに判別し、そう判断した理由も述べよ。
7. 例文⑦「おぼしけむ」の「けむ」の活用形を答えよ。また、なぜその形になっているか、係助詞に触れて説明せよ。
8. 例文⑧「いかに泣きけむ」を現代語訳せよ。
9. 例文⑨「家をば恋しと思ひけむ人々」を、「けむ」の意味（連体修飾）に注意して現代語訳せよ。
10. 例文⑩「など、かくは仰せられけむ」を、助動詞の意味に注意して現代語訳せよ。
11. 助動詞「けむ（けん）」の意味を三つ、すべて答えよ。

12. 助動詞「けむ」は何形に接続するか、活用形の名で答えよ。また、その接続を手がかりに、現在推量の「らむ」は何形に接続するかも答えよ。
13. 「けむ」の活用は何活用型（何段型）か。終止形・連体形・已然形をそれぞれ答えよ。
14. 「けむ」と「らむ」は、それぞれいつのことを推量する助動詞か。「過去」「現在」の語を用いて違いを説明せよ。
15. 「らむ」と「けむ」の使い分けについて、接続の違いと意味（時制）の違いの両面から、一文で説明せよ。
16. 次のア～エの傍線部のうち、過去推量・過去の原因推量の「けむ」を含むものをすべて選び、記号で答えよ。
- ア 思ひけむ　イ 行くらむ　ウ おぼえけむ　エ 咲きぬらむ
17. 次の各文の傍線部のうち、助動詞「けむ」であるものを一つ選び、記号で答えよ。残りはそれぞれ何の語か説明せよ。
- ア 夏来たるらし　イ 言問はむ　ウ 泣きけむ
18. 「けむ」を文法的に説明する際、「過去の助動詞『き』＋推量の助動詞『む』」と二語に分けて説明するのは誤りである。その理由を、「けむ」が一語の助動詞であることに触れて簡潔に述べよ。
19. 「けむ」と「らむ」を、時制の違いがわかるように、それぞれ現代語訳して対比せよ。
- 「昨日は何をしけむ、今日は何をすらむ。」
- (1) 「しけむ」の訳
- (2) 「すらむ」の訳
20. 「けむ」が連体形で用いられている場合、その下にはどのような語が続くことが多いか。本文から例を一つ挙げて説明せよ。
21. 過去の原因推量の「けむ」は、文中にどのような語（疑問・理由の語）を伴うことが多いか。本文から具体例を一つ挙げて答えよ。
22. 「き」「けり」「けむ」はいずれも過去に関わる助動詞である。このうち、推量の意味をあわせ持つものはどれか、一つ選んで答えよ。